

札消救第 119 号  
平成 29 年（2017 年）10 月 20 日

北海道救急医学会救急隊員部会  
部会長 大島 光由 様

札幌市消防局長  
大島 光由  
（公印省略）

第 193 回札幌市消防局救急活動事例研究会の開催について（御依頼）

標記について、下記のとおり実施しますので別紙 1、別紙 2 を北海道救急医学会救急隊員部会ホームページへの掲載をお願いいたします。

記

- 1 実施日時  
平成 29 年 11 月 17 日（金） 13 時 00 分から 16 時 45 分まで
- 2 実施場所  
札幌市消防局 7 階講堂（札幌市中央区南 4 条西 10 丁目）
- 3 座長  
厚別消防署
- 4 助言医師
  - ・市立札幌病院 救命救急センター 医師
  - ・手稲溪仁会病院 救命救急センター 医師
- 5 発表演題
  - (1) 「胃痛が脊髄出血！？～脊髄出血の傷病者を対応した事例について～」
  - (2) 「医療人として LGBT を正しく理解し「アライ救急隊」になろう」
  - (3) 「ベクト（良性てんかん）が 30 分以上継続した症例を経験して」
  - (4) 「外国人の重症症例にボイストラを使用し対応した症例を経験して」
  - (5) 「たこつぼ型心筋症を経験して」

(6) 「軽微な感染症状で発症した傷病者が髄膜炎であった事案について」

(7) 「多岐にわたる主訴のある大動脈解離を経験して」

6 レクチャー

手稲溪仁会病院 救命救急センター 医師

7 プログラム

別紙1のとおり

8 参加申し込み

別紙2に参加者を取りまとめ、11月13日(月)までに参加者名簿を下記担当者あてにご連絡願います。

9 その他

- (1) 駐車場は利用不可とさせていただきます。
- (2) ビデオ撮影については、禁止させていただきます。
- (3) その他、必要事項はその都度ご連絡いたします。

担当：札幌市消防局警防部救急課救急指導係

森出・高林・村上

電話：011-736-1238 Fax011-271-0687

E-mail：<mailto:kyukyuwork.shobo@city.sapporo.jp>

## 第 193 回救急活動事例研究会プログラム

平成 29 年 11 月 17 日 (金)

12 時 30 分～	開場・受付	札幌市消防局 7 階講堂
13 時 00 分～	開 会	座長
13 時 05 分～	開催挨拶	警防部救急課救急課長
13 時 10 分～	演題発表 (8 分/題)  助 言 ディスカッション (10 分/ 題)  発表間 2 分	1 「胃痛が脊髄出血! ? ～脊髄出血の傷病者を対応した事例について～」  2 「医療人として LGBT を正しく理解し「アライ救急隊」になろう」  3 「ベクト (良性てんかん) が 30 分以上継続した症例を経験して」
14 時 10 分～	休 憩	
14 時 25 分～	演題発表 (8 分/題)  助 言 ディスカッション (10 分/ 題)  発表間 2 分	4 「外国人の重症症例にボイストラを使用し対応した症例を 験して」  5 「たこつぼ型心筋症を経験して」  6 「軽微な感染症状で発症した傷病者が髄膜炎であった事案 について」  7 「多岐にわたる主訴のある大動脈解離を経験して」
15 時 45 分～	休 憩	
16 時 00 分～	レクチャー (約 45 分)	『プレホスピタルにおける処置の「常識」の見直し』 手稲溪仁会病院 救命救急センター医師
16 時 45 分	閉会挨拶	座長

## 1 参加申し込み

参加者を取りまとめ、平成 29 年 11 月 13 日 (月) までに警防部救急課救急指導係あて電子メール ([kyukyuwork.shobo@city.sapporo.jp](mailto:kyukyuwork.shobo@city.sapporo.jp)) でご連絡願います。

## 2 その他

- (1) 駐車場は利用不可とさせていただきます。
- (2) ビデオ撮影については、禁止させていただきます。
- (3) その他、必要事項はその都度ご連絡いたします。